



グルモール

第12号

令和7年3月13日(木)

JAPANESE SCHOOL NEW DELHI 2024

令和6年度の教育活動が終了しました 1年間ありがとうございました

校長 尾後貫 智

本日をもって、ニューデリー日本人学校の本年度の教育活動がすべて終了いたしました。保護者の皆様をはじめ、教育活動にご協力くださったすべての方々へ、心より感謝申し上げます。本日の修了式では、子どもたちに修了証書を授与しました。この証書には、日本から遠く離れた異国の地で、日々の学校生活を通して多くのことを学び、日本の教育課程を修了したことが刻まれています。ぜひ、ご家庭でも子どもたちの努力をたたえ、温かい言葉をかけていただければと思います。

先週の3月7日には、小学部第60回、中学部第42回の卒業式を、在インド日本国全権大使小野啓一様をお迎えして挙行いたしました。私から卒業生へ向けた式辞では、次のような話をしました。「人の一生を24時間に例えると、小学校卒業は午前3時頃、中学校卒業は午前4時前と言われていきます。午前3時台では、まだその日がどんな一日になるか分かりませんね。これから出会う人や経験することすべてが未知であり、今の自分にできることや知っていることが、未来を決定づけるわけではありません。だからこそ、今できないことがあっても、知らないことがあっても焦る必要はありません。大切なのは、今日という日を一生懸命に過ごし、『あなたがなれる最高の人』を目指して少しずつ前に進むことです。

これからの日々には、楽しい出来事も、つらい出来事も訪れるでしょう。私たちは、自分に降りかかる出来事を選ぶことはできません。しかし、その出来事の意味を考え、どう反応するかを選ぶことはできます。

つらいことに出会ったとき、下を向いて立ち止まるのか、起き上がり、それを自分の力に変えて進むのか。それは、自分で決めることができます。楽しい出来事があったなら、思いっきり喜んでください。つらい出来事があったなら、本気で悲しんでください。あなたの心が本当に躍った瞬間だけが、『あなたの生きる力』になっていきます。『いつかやろう』『まだ無理だ』『ほかの人と違ったらどうしよう』…そんなふうに思いながら過ごしているうちに、人生は過ぎてしまいます。」

また、保護者の皆様には、次のようなお願いをしました。

「今日までわが子を慈しみ、育ててこられた日々の中で、悩みや迷いは何度もあったことでしょう。子育てには正解がなく、『順風満帆とはいかなくとも、すべての日に意味があった』と、今ここにいる立派に成長した卒業生たちの姿が証明してくれているのではないのでしょうか。

思春期の子どもたちは、大人と子どもの中で揺れ動いています。

『べつに…』と言いながら、本当は不安を抱え、

『一人にして』と言いながら、本当はそばにいてほしい。そんな時期なのです。

今日で子どもたちは母校を離れ、私たち教師の手が届かなくなります。だからこそ、保護者の皆様にお願ひがあります。

先回りして教えようとせず、そばで見守ること。

ダメな時こそ、最後まで信じること。

どうか、子どもたちの未来を信じて、支えてあげてください。」

令和6年度を締めくくるにあたり、卒業学年以外の保護者の皆様にも、ぜひ振り返っていただきたいことがあります。昨年の今頃、お子さんの様子はどのようなようだったでしょうか。きっと驚くほどの成長が感じられるのではないのでしょうか。子育ては日々の連続であり、「これで良いのか？」と自問自答しながら進んでいくものです。

「子どもが失敗しないように、私が解決しなければならない。」

「自分が子どもの頃に辛い経験をしてきたから、同じ苦勞をさせたくない」

子育ての中で、このような思いにかられることがあると思います。しかし、子どものやることすべてが親の責任ではなく、すべての失敗が子どもをダメにするわけでもありません。子どもを思うあまり、つい過保護になってしまう場合もあります。子育ては、自転車の乗り方を教えることに似ていると私は思います。補助輪を外し、自転車の荷台からそっと手を離します。自分だけで走れた時の子どもたちの表情を覚えていらっしゃいますか。あの表情が、私たちの目指すべき「自立」した喜びを象徴していると思います。子育ての究極の目標は「子どもの自立」です。

書家であり詩人でもある故相田みつを氏がかつてPTA会長をされていたときのノートに、次のようなメモが残されていたそうです。

- 1 私たちは未来の社会を予測できない。
- 2 子どもは、その未来の社会を生きるものである。
- 3 その時親の手は届かない。

この言葉は、「子どもをどんな社会にも正しく適応し、たくましく生きられるように育てておくことが大事であること。」を伝えているのだと思います。私たち大人は、子どもが転ばないようにと先回りしてしまうことよりも、子どもたちは親の手が届かなくなる未来の世の中を生きていかななくてはいけないからこそ、転んでもまた立ち上がり、自分の力で考え、行動できる生きる力を子どもである「今」育てていかななくてはいけないのだと思います。「親」という字は、「木の上に立って見(守)る」と書きます。これからも子どもたちの成長を信じ、寄り添っていきましょう。

最終日となった今日は、帰国する友だちとの「フィルミレンゲの会」を行いました。子どもたちは、日本では経験できない多くのことをインドで学びました。どうか胸を張って帰国し、新しい環境でも頑張ってもらいと思います。また、帰国する先生方とのお別れの離任式も行いました。別れは寂しいものですが、それぞれが新たなステージで活躍されることを願っています。

来年度も新たな職員を迎え、児童生徒がたくましく成長できるよう努めてまいります。4月からも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

1年間、本当にありがとうございました。

建替え工事に関わる年度替わりの状況について

※3月13日午後より3月末日まで本格的な移設作業が行われます。電話、通信システム（メール等）がつながりにくい場合があります。ご了承ください。また、旧校舎は3月20日より、立ち入り禁止となります。学校にご用がある場合は、門衛にお伝えください。

※正門の位置が変わります。校庭側の出入り口が正門となります。原則、新年度からバスの乗降場所は、プレハブ校舎側になります。マイカー通学は、正門前での乗降となります。大雨等急な対応の場合については、新年度にお知らせします。ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。



令和6年度 ニューデリー日本人学校 卒業証書授与式 ～ご卒業おめでとうございます～



3月7日、小学部6年生（G6）36名、中学部3年生（G9）14名が、ニューデリー日本人学校を巣立っていきました。おごそかな空気の中、それぞれ華やかな式服に身を包んだ卒業生たちが凛とした面持ちで入場し、証書を受け取りました。みんなで歌う校歌と旅立ちの歌が児童生徒の祝福とさみしさの思いをのせて会場に響き渡りました。



卒業記念品として卒業生のPTA学年委員会さまからマイクセットを寄贈していただきました。式行事などで大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



おつかれさまでした！職員のフィルミレンゲ

～10名の教員が離任し、 帰国します～

1月の「グルモール」、PTA総会でもご紹介いたしました。今年度末をもって以下の教員が任期を終え、日本に帰国します。離任教員からのメッセージです。



★3年間お世話になりました。主に中学部の生徒と、国語科の授業を通して関わりました。成長していく子どもたちと共に過ごせた日々は、私にとって一生の財産です。また、保護者の皆さまには行事やPTA活動など様々な場面で学校を支えていただきました。来年度からの校舎建て替えを経て、ますます発展していくニューデリー日本人学校を、日本から応援しています。
(三吉 孝平)

★3年間大変お世話になりました。日々子どもたちと保健体育・技術の授業を通して関わっていく中で私自身多くのことを学びました。この3年間で人とのつながりの大切さ、インドの面白さを存分に実感し駆け抜けた3年間でした。たくさんの温かいお言葉がけやご協力ありがとうございました。
(米澤 美穂)

★3年間、本当にありがとうございました。子どもたちの笑顔と成長を間近で感じる事ができ「しあわせ」でした。インドという地で「つながり」を持った子どもたちがこれからも笑顔で過ごせることを願っています。私も、ニューデリー日本人学校で育まれた経験を胸に、進んでいきます。また世界のどこかで再会できることを楽しみにしています。
(加藤 菜々子)

★ニューデリー日本人学校のみなさまへ。2年間という短い間でしたが、スーリヤ学級、図工の時間、美術の時間、家庭科の時間、英語の時間、委員会や行事、教育相談など、様々な場面でみなさまと関わる時間をいただきました。このニューデリー日本人学校で過ごせた時間は素晴らしいものでした。本当にありがとうございました。これからのご活躍を心よりお祈りしています。
(鈴木 泉)

★2年前にインドに来て、たくさんの新しいことを経験し、学び続けました。そして、人はいくつになっても学び続けることを再認識し、そして、インドでの出逢いに日々、感謝しています。

ニューデリー日本人学校の児童生徒の皆さん。これからも自分の道を信じ、突き進む強さと、周りに目を向け、手を取り合う優しさを大切に、未来に羽ばたいてください。ご活躍をお祈りしています。 フィルミレンゲ☆
(川澄 健作)

★2年間中学部英語を担当し、お世話になりました。明るく元気な子どもたちに日々癒され、成長していく姿を見ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。今後もニューデリー日本人学校発展と皆様の御活躍をお祈りいたします。
(野口 悦子)

★日本と異なる環境下で元気よく生活している子供たちを見て、人間って環境になじむものなのだなと、思いました。ここで得た貴重な体験を大切にします。日本から、皆様のご多幸とご健康をお祈りしています。
(三瀬 章裕)

★ニューデリー日本人学校のみなさま、大変お世話になりました。私は、この学校が大好きで、3度の赴任で7年間勤務させていただきました。私は日本人学校の素直で前向きな児童生徒が大好きです。たくさんの出会いがありその一つ一つが私の宝物です。ここでの出会いを大切に、夢ある日々を過ごして下さい。フィルミレンゲ
(中島 美裕)

★あつという間の2年間、素直で優しい子供たちと、毎日楽しく幸せな学校生活を過ごすことができました。特に学習発表会が心に残っています。前年度5年生と行った「しのぶえ発表」、今年度4年生と創り上げた「マツケンサンバ」忘れません。ニューデリー日本人学校と、関わった子供たちすべての今後の活躍を応援しています。最後になりましたが、保護者の皆様、温かいご協力をありがとうございました。
(大高 明子)

★2年間、お世話になりました。インドで過ごした日々、ニューデリー日本人学校で過ごした日々はとても楽しく、忘れることはできないでしょう。皆様のさらなるご活躍を願っております。 フィルミレンゲ。
(坪井 大祐)

新年度（令和7年度） 当面の予定

- 4月14日（月） ※G1,G7を除く全児童生徒、教職員 下校バス 11:30
ナマステの会 8:45～ 着任式 9:30～ 始業式 9:50～
・9:30よりバス説明会 欠席者予備日は15日12:00より
- 4月15日（火） ※全校児童生徒、教職員 下校バス 11:15
入学式 9:30～
・G1,G7は式後、写真撮影、学級活動があり、下校は11:45から全員マイカーとなります。
・学校ロゴ入りTシャツ（ジャパT）などの購入もできます。
- 4月16日（水） 身体測定、全校5時間授業 ※この日からお弁当が必要となります。

★今年度末でG1～G8で本校を去る児童生徒は58名でした。（G6も含む）ニューデリー日本人学校での思い出を大切にそれぞれの地で、元気に活躍されることをお祈りしています。フィルミレンゲ～！

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	スーリア	計
男子	11	15	16	17	12	18	15	16	11	(2)	131
女子	17	19	12	18	19	18	11	14	3	(0)	131
計	28	34	28	35	31	36	26	30	14	(2)	262

◆児童生徒在籍者数（3月13日現在） ※スーリアの数は交流学級に計上しています。本日の転出生は計上していません。